

Gymnocalycium schmidianum への補遺

Wolfgang Papsch

Ziehrenweg 5, 8401 Kalsdorf (Austria)

e-mail : wolfgang.papsch@schuetziana.org



※これは、Mario Wick 博士らが主宰する、*Gymnocalycium* のインターネットジャーナルに載せられた記事です。

著者の好意で、翻訳の掲載許可を頂いています。無断転載を禁止します。(翻訳 ; 島田 孝)

Franz Strigl と Hans Till による *Gymnocalycium schmidianum* のに関する最初のコレクションに関する情報が殆どありません。それは、主として Franz Strigl の日記の記入に限定されています。最初のコレクションの実例となる写真と植物は、これまで、殆どの人に知られていません。Franz Strigl の文書で、3つのスライドが見つかりました、一枚は、その生育する場所での植物、二枚は、輸入された Strigl の植物を示しています。

キーワード: *Gymnocalycium*, *Gymnocalycium schmidianum*

Gymnocalycium schmidianum (H. Till & W. Till) Meregalli & Kulhánek は、詳細な論文の主題です、それは 2015 年の初めに出版されました。(Meregalli & Kulhánek 2015)

この種は、Franz Strigl と Hans Till により、アルゼンチンへの彼らの最初の旅行中、1987 年 10 月 18 日、Tinogasta の南で発見されました。その日、Hans Till は体調が悪く、そのため、産地に関する詳細は、彼の旅行日程で見つかりません。彼は、Tinogasta から Famatina への途中で、わずかな発見物の中に、コレクション番号 STO 60 の *G. hossei var. ferox* をおそらく発見したと言及するだけです。

Franz Strigl は彼のフィールド記録で、さらに収集のに詳細に書き、そして植物をまた、*G. hossei var. ferox* と呼びます。次のような関連する記入を読みます。(Strigl 1987):

「60 道路の左側の山脈、Tinogasta 南東部、海拔 1600m、最初無駄に探索し、消耗した後。最終的に山のふもで、激しく刺の出ている、*G. hossei v. ferox*、球形から少し縦長の球形、直径 12-17 cm、高さ 13-18 cm、部分的に、花は時々、未熟の青い果実が付きしおれている。」

すべての種類の情報は、この分類群を議論するために収集されました。当然、28 年以上前、そして、デジタル写真の到来のかなり前、生息地での写真は経済的に撮られました。Strigl の Strigl のスライドの収集で、その生息地位置の植物の複製は、いま発見されたところです。(Fig. 1) Till の健康の問題で、その場所を訪れることができませんでした。したがって、彼からの追加の視覚的な資料はありません。(訳者注 ; H.Till 氏らは、*Gymnocalycium* 8(1) 1995: 141-146 で、STO 60 を基準標本として、この種を *G. catamarcense subsp. schmidianum Till & W. Till* として学術記載しました。)



Fig. 1: *Gymnocalycium schmidianum* STO 60、18.10.1987 Tinogasta の南東



Fig. 2: *Gymnocalycium schmidianum* STO 60、Strigl のコレクション

Strigl は、それらの記録をつけるために、彼がこの旅から持ちかえった、彼の収集物の植物写真を取りました。それらの中に、場所 STO 60 の 2 つの写真が、彼のスライドコレクションの

中で発見されました。(Fig. 2-3) 起源の正確な日付は、これらのスライドで見つけられませんでした。



Fig. 3: *Gymnocalycium schmidianum* STO 60、Strigl のコレクション

別々のメーカーの、元のスライドフィルムは、BRAUN Multimag SlideScan 6000 の助けを借りてデジタル化されました。

感謝

親切に、彼の旅行記録と視覚材料を私に使わせてくれた、Kufstein(オーストリア)の Franz Strigl に、私はとても感謝します。

文献：

Meregalli, M. & Kulhanek, T. (2015) *Gymnocalycium schmidianum*, eine gute Art.

Bemerkungen zur Verbreitung, Ökologie und Beschreibung einer neuen Unterart. - *Schütziana* 6(3): 3-40.

Strigl, F. (1987) Reisebericht La Rioja 1987. - pers. Reiseaufzeichnungen.

Till, H. (1987) Argentinienreise 1987 vom 6.10. bis 5.11.1987. - pers. Reiseaufzeichnungen.

Till, H. & Till, W. (1995) *Gymnocalycium hybopleurum*. 2.Teil: Neubeschreibung der unter diesem Namen bekannten argentinischen Pflanzen. - *Gymnocalycium* 8(1): 141-146.